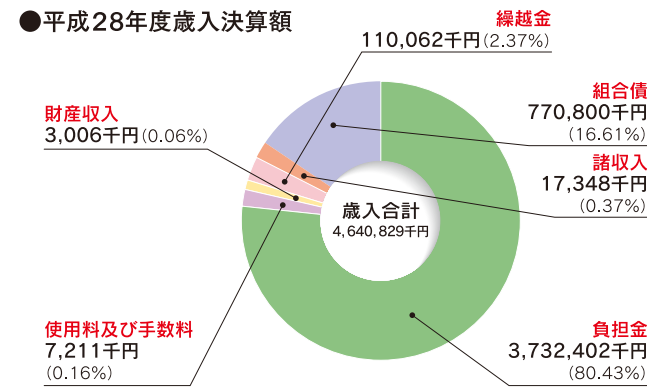
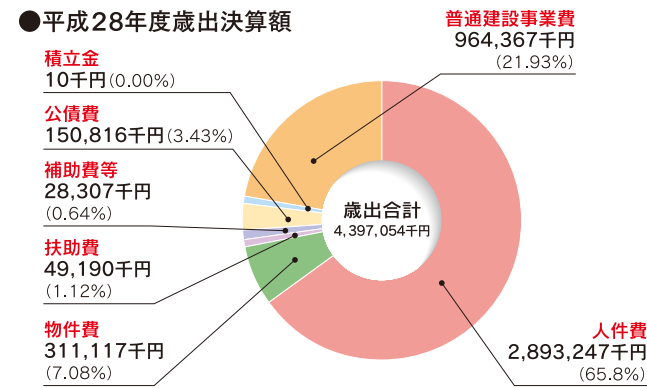


広域消防特別会計歳入決算額の財源別内訳



広域消防特別会計歳出決算額の性質別内訳



人事行政の運営等の状況について

久留米広域市町村圏事務組合(久留米広域消防本部)では、「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、圏域の皆さんに、職員の任用、給与、服務等についての概要をお知らせします。

【職員の任免及び職員数に関する状況】

①職員の採用及び退職の状況(平成28年度)

採用者数	退職者数
9人	7人

②職員数の状況(各年度4月1日現在)

区分	消防職員
平成29年度	376人
平成28年度	374人
対前年度増減数	2人



(注)職員数は一般職に属する職員数であり、休職者、派遣職員などを含み非常勤職員を除いています。

【職員の給与の状況】

①人件費の状況

区分	久留米広域消防本部管内人口	歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)
平成28年度(決算額)	425,784人	4,397,054千円	2,893,247千円	65.8%

(注)人件費には共済費を含みます。

②職員給与費の状況

区分	職員数A	給与費			1人当たり 給与費年額(B/A)	
		給料	職員手当	期末・勤労手当		
平成28年度(決算額)	374人	1,322,420千円	392,777千円	526,461千円	2,241,658千円	5,994千円

(注)職員手当には退職手当を含みません。

③職員の平均給料月額(平成29年4月1日)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
消防職員	295,799円	373,180円	37.8

(注)「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる諸手当の合計です。

④職員の初任給の状況(平成29年4月1日)

区分	大学卒	短大卒	高校卒
消防職員	191,700円	178,200円	161,700円

【職員の勤務時間その他の勤務条件の状況】

勤務別	1週間の勤務時間	勤務時間	
毎日勤務職員	38時間45分	8:30~17:15	7:45(1日)
隔日勤務職員	38時間45分	8:30~翌日8:30	15:30(1当務)

災害情報をメールでお知らせ

火災情報(発生時間、場所及び消火時間)を個人の携帯にメールでお知らせするサービスを行っています。

右のQRコードを読み取り、アクセスしてください  
※メールの登録は無料ですが、通信費用は受信者負担となります。  
※利用状況等の影響でメール受信が遅れたり、届かない場合があります。

アドレスかQRコードより登録



<http://www.center-chikugo119.jp/fire/saigai/pb/mobile/pb.html>

ホームページ リニューアル!!

<http://www.fire-city.kurume.fukuoka.jp>

この度、情報をより分かりやすくお届けできるよう当消防本部のホームページをリニューアルしました。消防本部からのお知らせや火災発生状況、日曜・祝日在宅医など、住民の皆さんにお伝えしたい情報をたくさん掲載していますので、是非一度、ご覧になってください。

久留米広域消防本部 検索

「みんなで築こう 人権の世紀」  
～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～

久留米広域消防だより vol.16 編集・発行/久留米広域消防本部  
〒830-0003 久留米市東柳原町999-1 TEL.0942-38-5151(代表) FAX.0942-32-4603

2017 vol.16 平成29年10月発行

く る め こ う い き  
久留米広域

消防だより



大雨・ゲリラ豪雨への備えを

- ハザードマップ・避難経路の確認
- 最新の気象・河川情報に注意

平成29年7月  
九州北部豪雨

自然の猛威に  
立ち向かう

～被災地を支援  
復興を願う～



被災地を支援 ～福岡県消防相互応援協定による活動～

久留米広域消防本部では7月5日～8月4日までに、消火隊・救急隊・救助隊など延べ102隊、500人の隊員を朝倉市へ派遣しました。

筑後川流域一斉搜索活動

7月24日、消防本部、消防団、警察、自衛隊の合同による筑後川流域での搜索活動が実施されました。

筑後川流域一斉搜索活動



久留米広域市町村圏事務組合  
久留米広域消防本部

平成29年度 全国統一防火標語  
「火の用心 ことばを形に 習慣に」

情報トピックス

# 久留米広域消防本部 職員一丸となり、地域・住民の「安全・安心」を守ります！

消防職員376名(うち女性職員9名) / 消防救急車両69台・船舶10艇などの充実した車両・資機材！

上記の消防力を運用し、管内で発生する全ての救急、救助、火災等の災害に十分対応できますが、仮に大規模災害等により上記の消防力を上回る場合においても、消防相互応援協定等に基づいて県内外の消防本部からいち早く応援を受ける仕組みが構築されています。

## 救急医療の充実 ～住民の安全・安心に繋げるために～

久留米広域消防本部は、救急車15台を配備し、皆様からの救急通報に対し迅速な出動を行っています。通報から傷病者が病院に到着するまでの時間を短縮することで、医師の診療行為を早く開始することができるため、後遺症の軽減や心肺停止傷病者の救命率向上が期待されます。

救急隊は毎日訓練を重ねて、病院、医師と連携を図りながら現場滞在時間の短縮を図っています。

119番通報から救急車が病院に到着するまでの時間

**全国トップレベル**

**26.5分!**

※なお、中核市48都市の中で、久留米市は1位(25.2分)です。

久留米大学病院ではドクターヘリを運用しており、重症事案の現場に医師が出動しています。

ドクターヘリの補充としてドクターカーを運用し、重症事案の現場に医師が出動しています。

管内は、高度な救急医療を提供する2つの救命センターに加え、各地域に核となる医療機関が点在する医療の充実した地域です。

- 全国の平均時間は**39.4分** ■ 久留米広域消防本部は**26.5分**
- 福岡県の平均時間は平成21年より**7年連続全国1位(30.2分)** ※平成27年

平成29年11月14日(火)

## 久留米消防署善導寺出張所が移転！

建物の老朽化による建替えに伴い、住民サービスの向上と管内消防体制の均衡化を図るため、**現庁舎から約2km東に移転**します。新庁舎は、各種訓練ができる施設が建物と一体的に整備され、**女性職員の配置にも対応**できる居室を設けるなど、現庁舎に無い様々な機能が追加された庁舎となっています。住民の皆さんに安全・安心を感じていただけるよう移転後も職員一同努力して参ります。

- 【庁舎概要】
- 〈所在地〉久留米市善導寺町島188-1 他 〈敷地面積〉 2510.76㎡
  - 〈構造〉鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 〈延べ面積〉 928.76㎡
  - 〈主な機能〉1F 多目的トイレ、事務室、出動準備室、車庫、水防倉庫 など
  - 2F 多目的ホール、仮眠室、女性用居室 など



## 高度救助隊が運用する救助工作車Ⅱ型を更新！

今年6月に、高度救助隊が運用する救助工作車を更新しました。車体形状をトラック型からバス型に変更したことで、出動中の車内での資機材等の準備がスムーズにできるため、いち早く災害現場へ出動することができます。また、高度救助隊のみが保有する画像探索機や地中音響探知機など、高度な救助資機材も更新したことで、幅広い災害に対応できます。



## 筑後地域初地震体験車導入！

地震体験車では、震度1～7までの揺れのほか熊本地震や東日本大震災などの過去に発生した大地震を体験することができます。その他にも…  
消防防災センターでは、平成29年4月のリニューアルに伴い、「煙体験」、「初期消火体験」、「台風体験」をすることができます。ちびっ子防火衣、ミニ消防車などの子供向けコーナーも多数展開！



〈消防防災センター〉 開館時間 / 9:00～17:00(入館は16:00まで) 休館日 / 毎週月曜日および第1火曜日(ただし祝日となる場合は、その翌日)・年末年始  
入館料 / 無料 ☎0942-38-5194

## 第3回ちびっ子防火スケッチ大会

- 「見て・ふれて・体験して」楽しく学ぼう！  
申込み不要！年齢制限ありません！
- スケッチ・ぬり絵大会(参加賞あり)
  - 15M梯子車試乗体験(抽選)
  - 防火衣・救助服の試着
  - 車両展示
  - 出店コーナー(無料)
  - 着ぐるみと記念撮影 など

〈日時〉平成29年10月29日(日) 11時～15時  
〈場所〉久留米シティプラザ六角堂広場(久留米市六ツ門町8-1)  
〈主催〉久留米市防災協会連合会、久留米消防署  
〈後援〉久留米市、久留米市女性防火クラブ連合会、久留米消防設備士会

## 三井・小郡地区防災協会 創立40周年記念 防災イベント開催！

- 防災について楽しく学ぼう！ご家族、お友達を誘って遊びに来てね！
- 梯子車体験
  - 煙体験
  - 車両展示
  - レスキュー体験
  - 地震体験
  - 出店コーナー(無料)
  - 消防音楽隊・幼年消防クラブ演奏 など

〈日時〉平成29年11月18日(土) 11時～15時  
〈場所〉三井消防署(小郡市大板井279-2)  
〈主催〉三井・小郡地区防災協会、三井消防署  
〈後援〉久留米市、小郡市、大刀洗町

平成29年5月27日(土)

## 三潯地区防災協会から車両が寄贈されました！

三潯地区防災協会より**設立40周年記念**として、久留米広域消防本部(久留米広域市町村圏事務組合)に**資材搬送用車両**が寄贈され、記念式典において寄贈式が行われました。安全・安心なまちづくり及び防火思想の普及啓発のため有効活用していきます。



平成29年7月26日(水)

## 浮羽みのうライオンズクラブから応急手当訓練用人形が寄贈されました！

浮羽みのうライオンズクラブより、久留米広域消防本部(久留米広域市町村圏事務組合)に胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸などを学ぶ応急手当講習会で使用する**訓練用人形5体**が寄贈されました。胸骨圧迫の強さや早さをセンサーで感知し、正しい圧迫ができていればランプが点灯する機能が搭載されており、今後、応急手当講習会で活用していきます。

